

令和6年度第1回羽生市地域公共交通会議 ご意見一覧

※いただいたご意見について、通し番号をつけさせていただいております。
また、「-a」とついているものは、該当する番号のご意見に対する回答となっております。

「市民アンケート」の結果について

「あい・あいバス」の見直しについて

1 運行本数の増加と土日祝日の運行希望、停留所の見直しについての意見が多いとのことですが、この意見を踏まえてどのような対応案を検討されているのでしょうか。

1-a 土日祝日の運行については、平日の運行のような循環バスではなく、駅や公共施設、大型商業施設等の基幹的な路線バスやシャトルバスのような運行も考えられます。しかしながら、運行経費の増加や運行事業者の運転手不足も懸念されることから慎重に検討を行います。
また、停留所の見直しについては、停留所の場所の見直しの他に名称の見直しも検討しております。停留所の名前が地区の地元の方しか馴染みのない地名等そのままになっている場所もあり、〇〇病院前など、皆様がわかりやすい名前に見直すことも含め、停留所の見直しと表記しております。

2 運行ルートを見直す場合、停留所の新設や廃止が必然となりますが、各運行ルートの便ごとの輸送人員や各停留所の乗降データはあるのでしょうか。
運行ルートを見直しを検討するためには、最低でも必要なデータだと思います。

2-a 令和2年度、令和5年度の8月のある週において、乗降調査を実施しております。
乗降調査では、各ルートの各停留所における乗降人数の調査を実施しております。

3 運行本数の増加や土日の運行は経費の増加に繋がるため、予算には限りがあり、難しいとは思いますが、また、限度額を示すことも難しいと思いますが、「あい・あいバス」の運行を継続するためには、運行収入を増やす必要があると思います。
現在の運行本数や運賃を変えずに運行収入を増やすには、1便あたりの利用者数を増やす必要があります。住民が最も利用する時間に運行すればよいと思います。そのための情報収集が必要です。現在の利用者だけでなく、沿線住民から情報を収集する必要があります。情報収集には自治会との連携・協力が必要です。このことは、住民の満足度を上げることに繋がります。
運行ルートを見直す場合も同様です。運行を要望した自治会にも積極的な利用に取り組んでいただくことが重要と考えます。

3-a 運行経費の増加に対する懸念や運行収入を増やす必要性については、ご指摘の通りと思われます。また、バスの利用等に関する自治会や市民への意見・情報収集についても不足していると思われるので、少しでも満足度の向上につながるよう、努めてまいります。

4 「あい・あいバス」の運行を継続する（見直しを含む）、廃止する、いずれの場合であっても、それらを判断するための数値データが必要です。これにより判断基準を検討することができますし、円滑な検討に繋がると考えます。そのためには調査と分析が必要となります。
「市民アンケート」による市民からの意見は大事ですが、今回送付いただいた資料では、今後について審議するためには、情報が不足していると思います。

4-a ご指摘ありがとうございます。審議に必要な情報の収集に努め、継続して、あい・あいバス等の調査・分析を実施してまいります。

その他

5 「市民アンケート」結果で自由記入欄のNo44に「下村君は」との記載がある。個人の名前の場合は、黒塗りにしたほうがよいのでは。

5-a 下村君（しもむらきみ）は羽生市内の地区名です。